



第19回CPC

家族性高脂血症の1例

開催日：平成24年10月17日(水)

時間：17:30～19:00

場所：病院本館C41講義室

関連科：循環器内科、皮膚科、第二病理

司会：松井真先生(神経内科)

望月隆先生(皮膚科)

ミニレクチャー：

「脂質異常症と動脈硬化性心血管病」

梶波康二先生(循環器内科)

症例：80歳代 女性

臨床経過：母親、兄弟、子供にも高脂血症がある。経過中、心筋梗塞に対して冠状動脈バイパス術、大動脈弁疾患に対し同置換術が施行され、慢性心不全で経過観察されていた。肺炎のため入院し、腎不全をきたして、永眠された。

右図は肘にみられた黄色腫の腫瘤の肉眼像。



CPC(臨床病理検討会)は病理解剖症例をもとに、私たちの医療行為を振り返り、医療の質の向上をはかることを目的とする勉強会です。研修医、各科医師はもちろん、学生、全職員、院外の先生方にも参加いただけます。放射線科医による画像の読影、コメディカルや看護師による指定発言、今回は循環器内科、梶波康二先生のミニレクチャーを予定しています。

参加し、勉強しましょう！！

主催：金沢医科大学病院CPC実施委員会

連絡先：病院病理部(内線 5348)